

# u586 ● 第13章どこつぶDB版

13.3どこつぶでデータベースを利用する

ドキュメントルートは「u585」で作成した

**`/var/lib/tomcat9/webapps/jdbc` を使用します！**

## テーブルの作成とデータ入力

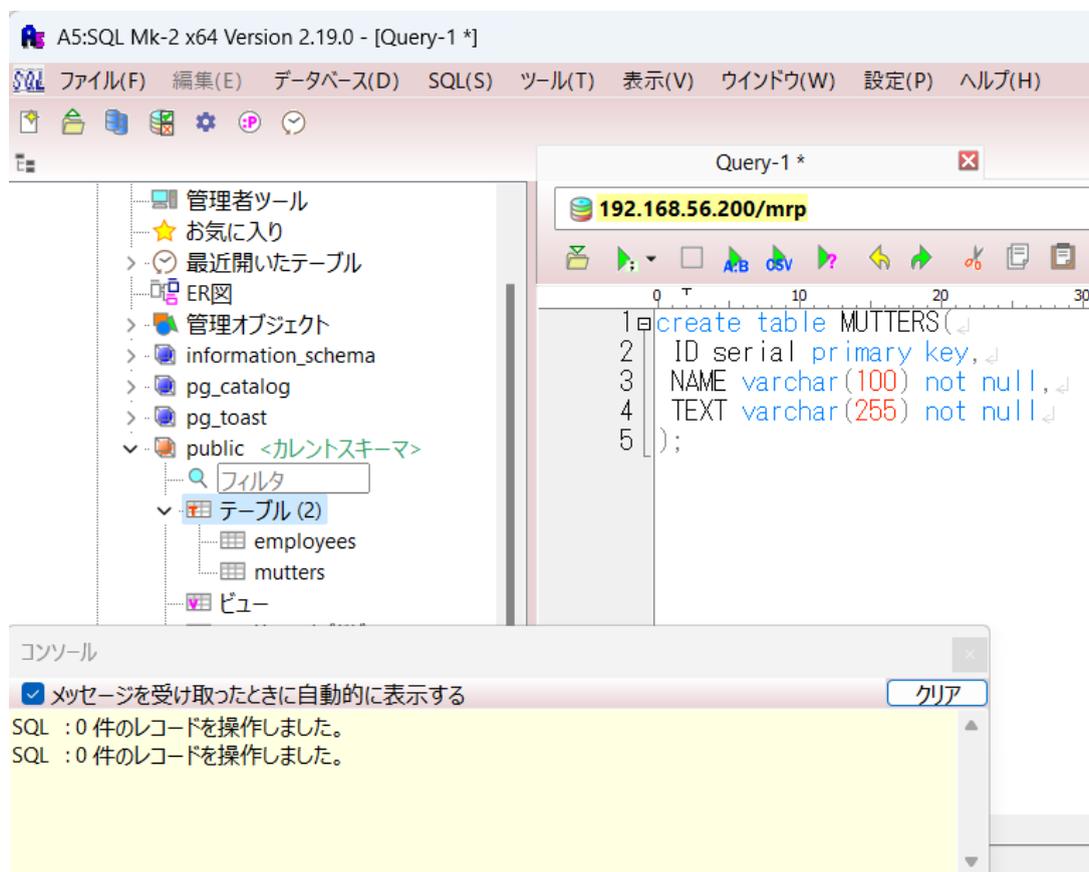
WindowsクライアントのA5M2からMUTTERSテーブルを作成します。

①どこつぶ用のデータベースmrpデータベースを作成する **済**

②データベースにつぶやきを保存するテーブルMUTTERSを作成する ←  
A5M2を使用

※キャレット位置から実行してください

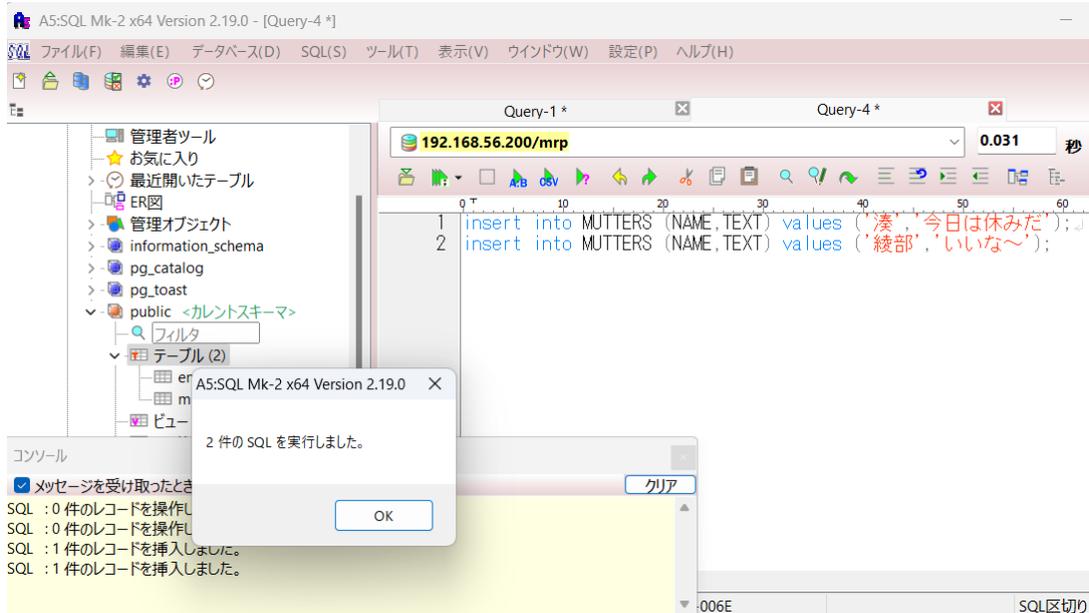
※カレントスキーマを再読込してmuttersテーブルができているか確認しま  
す



### ③MUTTERSテーブルにレコードを追加する ← A5M2使用

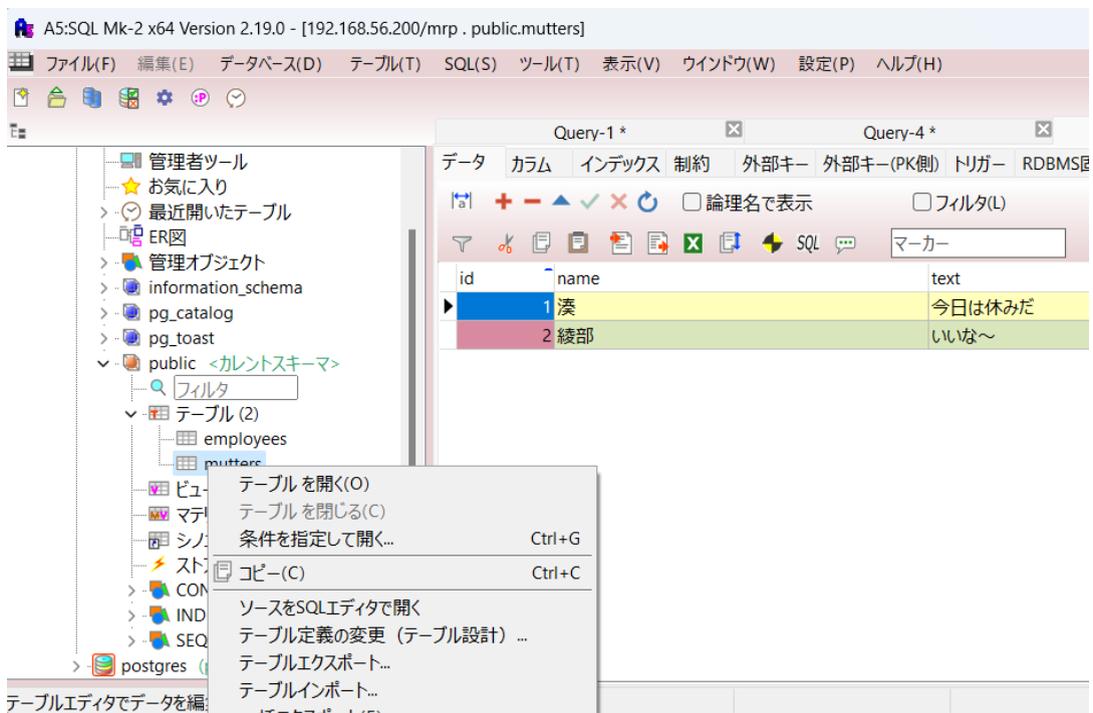
※**キャレットの実行位置に注意してください**（以下の例では「先頭から全て」が**確実**）

※ 2件実行されましたか



### ③MUTTERSテーブルの内容を確認する ← A5M2使用

※MUTTERS右クリック→テーブルを開く



## DB対応どこつぶプログラムを作成する

ドキュメントルートは~/webapps/jdbcです！ソースコードの作成場所に注意して、

**順次コンパイルをかけながら進んでください。**

①DB接続処理を実装する (ソースコードの作成場所)  
コード13-5 : Mutter.java ~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes  
コード13-6 : MuttersDAO.java ~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes

DB接続パラメータの変更箇所が3か所あります  
(以下のコードを参考に修正してください)

```
●PostgreSQLに接続するコード (重要なのはココ)  
Class.forName("org.postgresql.Driver");  
Connection conn =  
DriverManager.getConnection("jdbc:postgresql://192.168.56.200:5432/mrp",  
"postgres", "postgres")
```

コード13-7 : PostMutterLogic.java ~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes  
コード13-8 : GetMutterListLogic.java ~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes  
コード10-1 : User.java(10章で作成済み)~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes  
コード13-9 : Main.java ~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes

②ログイン処理を実装する(10章で作成済み)

コード10-4 : LoginLogic.java ~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes  
コード10-5 : Login.java ~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes  
コード10-6 : index.jsp ~/webapps/jdbc/  
コード10-7 : loginResult.jsp ~/webapps/jdbc/WEB-INF/jsp

③ログアウト処理を実装する(10章で作成済み)

コード10-10 : Logout.java ~/webapps/jdbc/WEB-INF/classes  
コード10-12 : logout.jsp ~/webapps/jdbc/WEB-INF/jsp

④エラー処理対応を実装する(10章で作成済み)

コード10-17 : main.jsp ~/webapps/jdbc/WEB-INF/jsp

↑

ここ「コード13-9」の直後の解説文をよく読むこと！

**最後にTomcatを再起動して実行確認**

<http://192.168.56.200:8080/jdbc>

完全に動作しますか？

綾部と湊とそれ以外の人ツイートが表示されますか？

DBにも保存されていますか？

文字化けしていませんか？

※文字化けの対応箇所が不明な時はコード11-4のフィルタを実装する手もあります！！

問題なくつばやけるようになったら**ブラウザとデータベースのスクショ**を提出してください

